

第七次中期経営計画（令和2年度～4年度）

令和2年度の取り組み状況について



みやぎ仙南農業協同組合



目次

第七次中期経営計画とSDGs	1
第七次中期経営計画の位置づけ	2
令和2年度の取り組み状況について		
Ⅰ. 農業者の所得増大・農業生産の拡大	6
Ⅱ. 豊かな地域社会の創造	15
Ⅲ. 地域を支えるJA経営基盤の確立	21



第七次中期経営計画とSDGs



SDGsは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すという**国際目標**です。上記の17の項目で構成されています。“持続可能な”とは、「将来の世代のための環境や資源を壊すことなく、今の生活をより良い状態にしていく」とのことであり2030年まで取り組みが進められます。発展途上国のみならず、先進国、国だけではなく各企業、各個人においてもこの考え方に多くの賛同され取り組みが広がっており、**JAグループにおいても賛同**を表明しています。

JAグループ
SDGs取組宣言

わたしたちJAグループは、
「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に賛同し、
その達成に向けて、事業・活動に取り組みます。



JAグループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

《出典：JA全中HPより》

第七次中期経営計画にも**SDGs**
の考えが取り入れられています

第七次中期経営計画の位置づけ

当組合の基本理念の実現へ向けて、第七次中期経営計画の基本方針「組合員と共に創る農業・地域の未来～JA自己改革へのさらなる挑戦～」のもと、基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「豊かな地域社会の創造」「地域を支えるJA経営基盤の確立」に向け、12項目の重点実施事項に基づく26項目の具体的な取り組みを進めています。

【JAみやぎ仙南コンセプト(基本理念)】

「食」と「農」を未来へつなぎ、豊かなくらしと心を育み、
夢と笑顔の溢れる地域づくりに貢献します。

第七次中期経営計画(令和2年度～令和4年度)

基本方針 「組合員と共に創る農業・地域の未来～JA自己改革へのさらなる挑戦～」

基本目標

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

「豊かな地域社会の創造」

「地域を支えるJA経営基盤の確立」

重点取り組み事項12項目に基づく26項目の具体的な取り組み

第七次中期経営計画の位置づけ



基本目標Ⅰ 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

重点実施事項

1. 地域の特性を生かした担い手の確保と育成
2. 地域営農ビジョンの策定・実践による農業所得の拡大
3. 担い手経営体のニーズに応える個別対応の強化
4. 園芸振興などマーケットインに基づく農業生産の拡大
5. 地域農業の振興に資する営農指導体制の強化

具体的な取り組み事項

- 新規就農者の育成・支援
地域営農を担う生産組織(集落営農・農業法人)及び組織化支援
- 中期経営計画実践を支える地域営農ビジョンの策定と情報共有
- 農業生産の省力化・低コスト化へ向けた更なる取り組み
担い手経営体に対する個別支援の充実
農業関連総合相談と担い手支援機能強化による農業者の所得増大の継続した実施
- 需要に応じた米づくりによる生産振興
園芸振興による農業生産の拡大
畜産振興による農業生産の拡大
顔とくらしの見える産直(産消提携活動)を通じた相互理解の更なる発展
- 「農業所得の増大」「農業生産の拡大」を担う営農指導体制の整備
営農指導員の確保と資質の向上



第七次中期経営計画の位置づけ



基本目標Ⅱ 「豊かな地域社会の創造」

重点実施事項

1. 組合員のアクティブ・メンバーシップの確立
2. 地域協同活動の推進
3. JAくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化
4. 組合員・利用者の期待に応える総合事業の展開

具体的な取り組み事項

- JAファン・仲間づくりのためのアプローチ
准組合員の「農」に基づく加入時説明の徹底と意思反映、運営参画
- 少子高齢化対策のため世代間交流を含めた次世代利用者へのPRイベントの開催
地区事業本部ごとの特色を生かした協同活動の展開
- 地域の多様な組織との連携及び生活インフラ、食農を機軸とした複合サービス、拠点の提供
- 利用者に寄り添った提案と相談業務の強化
手元で簡単・便利に取引できるインターネット、スマートフォンアプリによる便利機能の提供
総合事業の強みを最大限活かしたJAらしいサービスの提供
部門間連携による総合事業利便性の発揮



第七次中期経営計画の位置づけ



基本目標Ⅲ 「地域を支えるJA経営基盤の確立」

重点実施事項

1. 自己改革の実践を支える持続可能なJA経営基盤の確立・強化
2. 自己改革の実践を担う人材の育成と活力ある職場づくり
3. 組合員の信頼にこたえるコンプライアンス態勢の充実強化

具体的な取り組み事項

- 自己改革の取り組み継続と事業部門ごとの基盤確保に向けた経営シミュレーションの強化
- 問題解決型研修会による活力ある職場づくり
部門間における情報共有
人材育成基本方針の見直しと人事制度の再構築
- 内部統制の維持強化と信頼と絆の向上プランに変わる取り組みの実践



令和2年度の取り組み状況について

I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

1. 地域の特性を生かした担い手の確保と育成

具体的な取り組み事項

【新規就農者の育成・支援】

- ・新規就農者について、勉強会の開催や巡回面談者のリストを作成、アプローチや支援内容の検討をすすめました。
- ・柴田町、川崎町、白石市において、行政のサポートチームを組み新規就農者を定期的に巡回しました。

【地域営農を担う生産組織(集落営農・農業法人)及び組織化支援】

- ・法人協議会設立に向けて、管内の27法人をリストアップしました。
- ・行政との連携を強化するため、大河原農業改良普及センター及び各行政との連携・情報共有をすすめ、研修会や巡回訪問により相談対応しました。
- ・法人化支援において、ほ場整備事業に取り組んでいる地域を法人化支援を重点地域とし、10地区をリストアップし法人が設立されました。
- ・各生産部会を通じ、定年帰農者の情報を収集し、JAへの出荷、生産部会への加入誘導を図りました。
また、丸森農業創造センターとの共催により農業チャレンジ研修と称した定年帰農者向けの栽培講座を実施しました。



定年帰農

I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和2年度の取り組み状況について

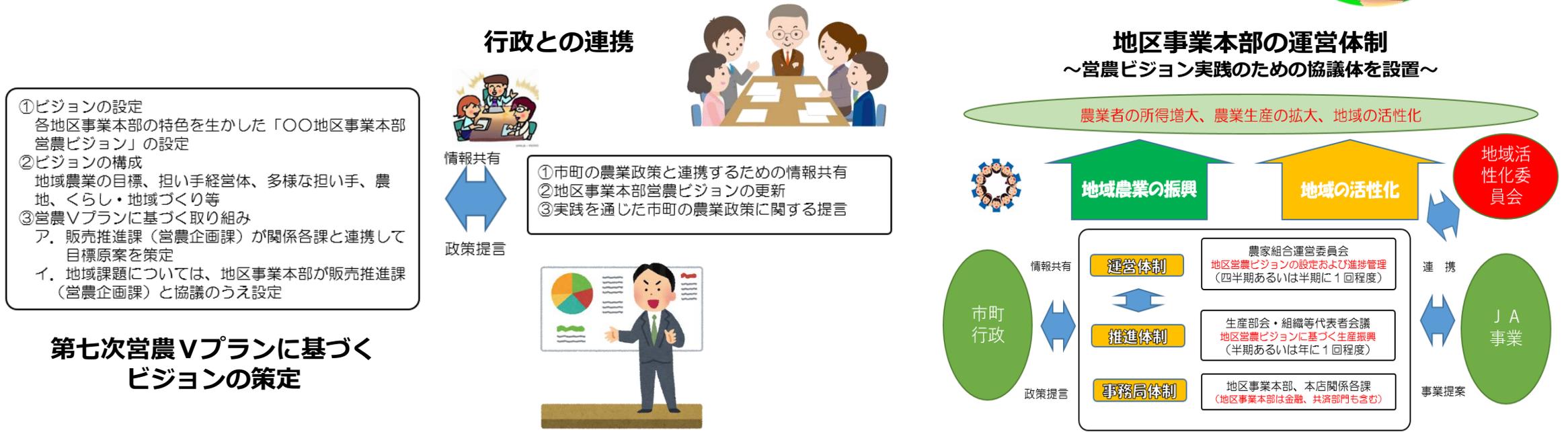
2. 地域営農ビジョンの策定・実践による農業所得の増大

JAみやぎ仙南
地域営農ビジョン

具体的な取り組み事項

【中期経営計画実践を支える地域営農ビジョンの策定と情報共有】

・「地域営農ビジョン」様式により7地区のビジョン(案)を作成し、取り組み目標等の設定を行いました。



I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和2年度の取り組み状況について

3.担い手経営体のニーズに応える個別対応の強化

具体的な取り組み事項

【農業生産の省力化・低コスト化へ向けた更なる取り組み】

- ・玉ねぎについては、令和2年度6.3^{ヘクタール}の作付となりました。
- ・生産資材のコスト低減については、肥料の銘柄集約、農薬の大型規格及び直送により、延べ1,973.58^{ヘクタール}の面積対応となりました。
- ・生産資材の価格低減については、予約・早期配送値引き、大口購買奨励等に取り組みました。
- ・低コスト農機の普及については、事業提案を行い2台の普及となりました。

【担い手経営体に対する個別支援】

- ・担い手399経営体を選定し、TAC訪問活動を実施しました。
- ・業務会議の開催による情報共有を実施するとともに、新型コロナ対策支援に関する補助事業の申請支援を部門間連携により実施しました。
- ・専門家との連携については、税務申告について税理士と連携しました。
- ・農業経営管理支援事業(記帳代行)の利用は46経営体となりました。
- ・青色申告会(会員数183名)によるe-Taxは128名の利用となりました。
- ・経営継続補助金、持続化給付金の申請支援に取り組みました。



産地化
を目指します！

希望の新戦力 いよいよ

JAグループの共同購入トラクターが、令和2年度6月23日(木)にJAみやぎ仙南管内の生産者に引き渡された。共同購入トラクター第2弾。JAみやぎ仙南管内初の引き渡し。

JAグループの共同購入トラクターが、令和2年度6月23日(木)にJAみやぎ仙南管内の生産者に引き渡された。共同購入トラクター第2弾。JAみやぎ仙南管内初の引き渡し。



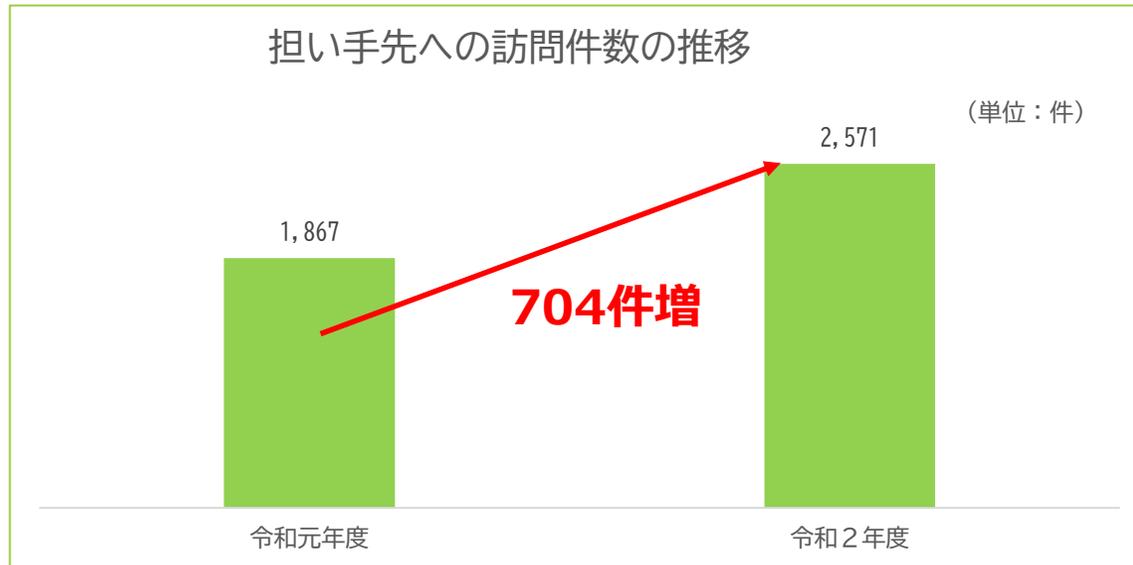
3. 担い手経営体のニーズに応える個別対応の強化

具体的な取り組み事項

【農業関連総合相談と担い手支援機能強化による農業者の所得増大の継続した実施】

・毎週特定日に担い手渉外、支店担当者が連携し10件以上訪問活動を展開しました。

取組実績: 担い手先2,547件、法人24件の訪問を実施。農業関連資金実績 352,350千円



I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和2年度の取り組み状況について

4. 園芸振興などマーケットインに基づく農業生産の拡大

生産者の所得増大に
繋がりました

具体的な取り組み事項

【需要に応じた米づくりによる生産振興】

- ・栽培マニュアルを作成し、こだわり米(365[㌔]袋)、ふるさと安心米(903[㌔]袋)の生産に取り組みました。
- ・実需者ニーズに応える作付け誘導として業務用の作付け誘導をはかり、前年対比124.8%、3,917袋の集荷となりました。
- ・作況指数102を反映し、集荷実績は492,487袋(上位等級85.92%)となりました。
- ・買取米については担い手対策の一環として、集荷対策における「戦略的買取販売」と位置付け、38,082袋(前年対比15,000俵超)の買取実績となりました。

【園芸振興による農業生産の拡大】

- ・重点品目8品目、推進品目3品目の生産振興に取り組みました。
- ・TAC園芸作物生産導入推進事業を活用し10品目597aの新規拡大に取り組みました。
- ・「高収益作物次期作支援交付金」の申請手続きを支援しました(199件申請、実行97件)。
- ・災害からの復興を目指し補助事業等を活用した園芸振興に取り組みました。
(パイプハウス、炭酸ガス発生装置の導入)



買取米作付面積推移



4.園芸振興などマーケットインに基づく農業生産の拡大

具体的な取り組み事項

【畜産振興による農業生産の拡大】

- ・優良繁殖雌牛導入・保留の推進については、15事業を実施し、素牛215頭の導入、43頭の保留を実施しました。
- ・仙台牛率は57%となり、2024年到達目標である55%を上回ることができました。
- ・トップ生産者(仙台牛率80%以上)の育成支援を行いました。
- ・共進会や肉牛祭りの開催により仙南産仙台牛のPRに努めました。
- ・畜産クラスター事業(拡大加速化事業)を活用し繁殖雌牛153頭増頭、乳用初妊牛3頭増頭しました。
機械導入要望8台のうち6台申請を行いました。



I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和2年度の取り組み状況について

4. 園芸振興などマーケットインに基づく農業生産の拡大

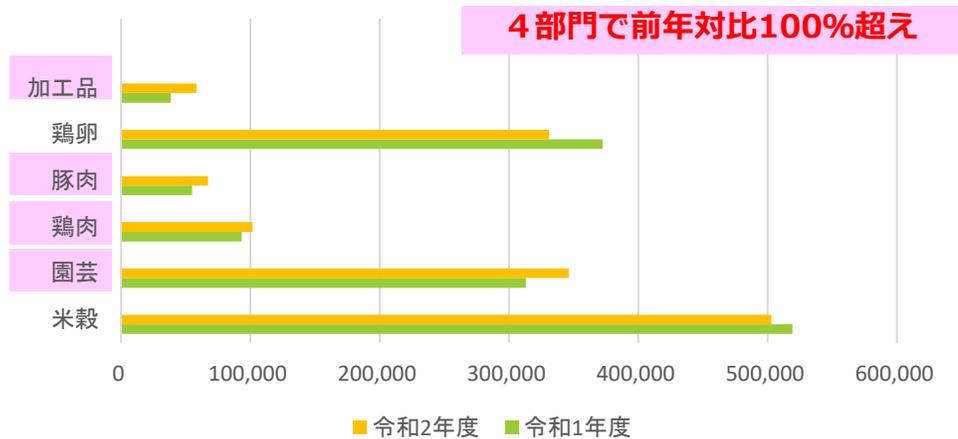


具体的な取り組み事項

【顔とくらしの見える産直(産消提携活動)を通じた相互理解の更なる発展】

- ・めぐみ野の取り組み(米・園芸・畜産・加工等)取扱総額 1,407,514千円(前年比101%)
 コロナ禍によりみやぎ生協との産直交流活動が大きく制限されましたが、消費者ニーズにあった新商品開発提案を行うなど販売強化に努めました。
- ・みやぎ生協との「顔とくらしの見える産直」50周年を迎え「めぐみ野」キャンペーンを実施し、普及拡大に努めました。

みやぎ生協「めぐみ野」取扱高 (単位:千円)



みやぎ生協「めぐみ野」取扱高

	みやぎ生協「めぐみ野」取扱高		前年対比(%)
	令和1年度	令和2年度	
米穀	519,186	502,895	97%
園芸	312,959	346,271	111%
鶏肉	93,355	101,784	109%
豚肉	54,857	67,270	123%
鶏卵	372,385	330,915	89%
加工品	38,312	58,379	152%
合計	1,391,054	1,407,514	101%



I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

令和2年度の取り組み状況について

5. 地域農業の振興に資する営農指導体制の強化

具体的な取り組み事項

【「農業所得の増大」「農業生産の拡大」を担う営農指導体制の整備】

・穀物乾燥調製貯蔵施設(カントリーエレベーター)

令和2年12月25日 1次造成工事終了
 令和3年3月 「カントリーエレベーター施設利用組織推進協議会」設立
 令和3年9月上旬 施設利用開始(貯蔵能力2,000トン、受入面積300ヘクタール)
 利用申込71名、96.7ヘクタール (R3.5.13現在、R3目標80ヘクタール)

・新農業倉庫(金ヶ瀬)

令和3年2月15日完成引渡 9月施設利用開始
 収容能力: 紙袋、39,900俵(フレコン換算1,641.6トン)
 農業倉庫の機能整備をすすめます。



カントリーエレベーター

県南初の施設生かせ

JAみやぎ仙南利用組織推進協が発足

台風禍乗り越え9月稼働

【みやぎ仙南】カントリーエレベーター(CE)の利用で乾燥調製作業の効率を高め、担い手の負担を軽減しようと、「JAみやぎ仙南カントリーエレベーター施設利用組織推進協議会」が発足した。2021年9月に、県南初のCEが稼働することから今後、規模拡大や飼料用米の取り組み拡大を目指す。

3月30日、角田営農情報センターで設立総会を開いた。利用者29人が出席し、規約など全3議案を承認。会長に斎藤巧一さん、副会長に佐々木高之さん、小野貴嗣さんが就任した。JAの舟山健一組合

長は「地域農業の維持発展のため、利用者の皆さんとCEの有効利用を進めていきたい。一層の協力をお願いしたい」と呼び掛けた。仙南地域は「令和元年東日本台風」で圃場(ほじょう)や施設、家屋などに甚大な被害を受けた。JAの角田ライスセンターも浸水し、乾燥調製機械、選別機械が被害を受けた。

このため「令和元年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業」を活用し、CEの建設を進めている。

就任あいさつをする斎藤会長

I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

5. 地域農業の振興に資する営農指導体制の強化

具体的な取り組み事項

【営農指導員の確保と資質の向上】

- ・営農指導員のレベル向上を目的に応募参加した「令和2年度JA営農指導実践宮城県大会」において**最優秀賞を受賞**しました。
- ・専門スキルを習得する研修(講習)会及び業務上必要とする資格を選定し、研修受講や資格取得を支援しました。
- ・農業機械に関する商品知識の習得のため、展示会へ派遣しました。



「たまねぎの産地化に向けて」
と題して実践報告
TAC課 日下晃一さん

たまねぎの作付け拡大に奮闘する
日下さん



8月21日に開かれた県大会で「たまねぎの産地化に向けて」と題し、加工・業務用たまねぎの機械化一貫体系の取り組みについて発表。見事、最優秀賞に輝いた。11月に青森県で開かれる北海道・東北大会に、県代表として出場する。「みやぎ仙南の取り組みを発表できる場をもらえたので、しっかりアピールしていきたい」と意

気込む。2011年にJAみやぎ仙南に入組して10年目。ずっと営農部門の業務に携わり、地域農業の担い手に出向くJA担当者(愛称TAC-Cタック)としては2年目。訪問活動を通して加工・業務用たまねぎの作付け推進を呼び掛けている。「新型コロナウイルスの影響で訪問回数は減ってしまっているが、多くの担い手から意見を聞き、JA事業に反映していきたい」と話す。上司の高橋信弘課長は「信頼される職員として、これからも担い手支援に取り組んでほしい」と期待する。33歳。(みやぎ仙南)

この人

20年度JA営農指導
実践県大会で最優秀賞

日下 晃一さん

(JAみやぎ仙南)

Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

令和2年度の取り組み状況について

1. 組合員のアクティブメンバーシップの確立

具体的な取り組み事項

【JAのファン・仲間づくりのためのアプローチ】

- ・金融と融資を合わせた**チラシ**を作成し、窓口担当、金融渉外者による店頭での配布や訪問活動時に商品のPRを実施しました。
- ・共済加入者の全訪問と保障拡充、あんしんチェック活動による総合保障の提供を行いました。

【准組合員の「農」に基づく加入時説明の徹底と意志反映、運営参画】

- ・「准組合員にかかる意思反映・運営参画促進要領」に基づき、**准組合員モニターアンケート**の実施しました。
- ・組合員組織担当者研修会を実施し、組織担当者間の情報共有と事務能力の強化を図りました。



Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

2. 地域協同活動の推進

具体的な取り組み事項

【参加型イベントへの取り組み】

- ・全共連主催の少年野球県大会はコロナ禍により中止となりましたが、参加予定であった管内21チームにタープとボールを寄贈しました。

【地区事業本部毎の特色を生かした協同活動の展開】

- ・各地区単位での地域活性化活動
→ 町内清掃活動や女性部、・青年部による地域小学校での農業体験、食育指導、カルチャー教室、地場農産物の寄贈等の活動を計画的に実施しました。
- ・広報活動実施方針・情報発信リーダーの設置要領を整備
→各部署において情報発信リーダーを選出し、職員間の情報共有体制を強化。対外的な広報活動の充実とJAのファンづくり活動に取り組みました。



令和2年度の取り組み状況について

職員情報共有へ「リーダー」



投稿された記事を見る本店の職員
(宮城柴田町)

宮城県のJAみやぎ仙南は、2020年度から、全役職員間の情報共有を目的に、新たに「情報発信リーダー制度」を開始した。各部門から選ばれた「情報発信リーダー」19人が、内部向けのインターネット掲示板「情報交換室」に情報発信。JA全体の広報活動の活性化を目指す。情報発信リーダーは、イベント告知をはじめ、活動報告や各地区の農産物の生育状況、鳥獣害状況

広報活性化を期待 宮城・JAみやぎ仙南

発信を促すため、年間20人以上投稿した人の中から、常勤役員と広報担当部署からなるJA広報推進会議が「情報発信最優秀者」を投票で選び表彰。投稿担当部署・くらし広報担当部長は「若手でも気付いたことを気軽に情報発信できる場を設定することで、『広報』に対する距離感や抵抗を感じずに取り組んでもらいたい。部門間を超えた情報を全職員が自由に閲覧できる場として、一人一人が自らの業務の中で活用してほしい」と話す。(みやぎ仙南)

Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

令和2年度の取り組み状況について

3. JAくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化

具体的な取り組み事項

【地域の多様な組織との連携および生活インフラ、食農を機軸とした複合サービス、拠点の提供】

- ・年6回の様々なカリキュラムを通じて地域の女性が学ぶ「女性大学」
→(株)ジェイエイ仙南サービスの介護支援センターと連携し介護に関する勉強会を実施しました。
- ・JA女性部「助け合い組織」では、中核病院へ七夕飾りづくりを行いました。
- ・JA青年部では、管内小学校へ食農教育活動資材として一輪車を寄贈しました。
- ・100歳元気プロジェクト推進員新規認定者5名が誕生し、**推進員合計68名**となりました。
- ・JAこども大学において**防災教室**を開催し、防災意識の醸成を図りました。
- ・**男の料理教室**、親子料理教室など親子参加型イベントを開催し、JA事業へ関心を持ってもらう活動を行いました。

女性大学で地域住民向けの高齢者福祉や終活の勉強会を開催しました。

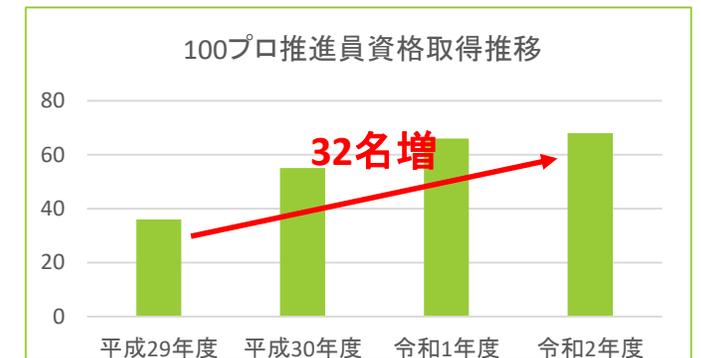


JAグループ宮城「百歳元気プロジェクト」とは
畑での野菜づくりや、趣味の旅も…
百歳まで元気に続けるための体力づくり、いきがづくりを応援します!!

JAグループ宮城「百歳元気プロジェクト」の推進員への3つの力

- 【運動】「百歳元気にこころ体操」とウォーキングをJAの仲間と楽しみながら行い、足腰の健康を保ちます!
- 【食事】「シャキッと野菜!弁当」や乳和食レシピを活用することで、5色のバランスの取れた食卓とおいしい減塩料理を美観します!
- 【健診・介護予防】JA総合健診「人間ドック」やミニドックを受診して、自らの健康状態を確認し、生活習慣の改善を図ります!

お問い合わせ先: JA宮城中央会営農課 TEL: 022(264)8245



Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

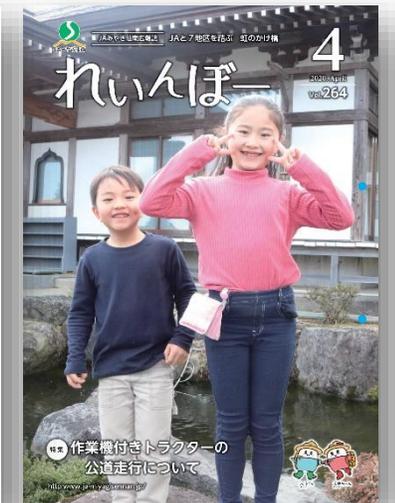
令和2年度の取り組み状況について

3. JAくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化

具体的な取り組み事項

【地域の多様な組織との連携および生活インフラ、食農を機軸とした複合サービス、拠点の提供】

- ・10月1日よりホームページをリニューアルし、ホームページを起点とした他SNS媒体の活用による情報発信力の強化に取り組みました。
- ・令和2年度宮城県広報大賞「地域密着型広報活動の部」において、地域活性化事業の取り組みが高く評価され 優秀賞(部門賞)を受賞し、JA広報大賞(全国審査会)へ推薦されました。



Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

令和2年度の取り組み状況について

4. 組合員・利用者の期待に応える総合事業の展開

具体的な取り組み事項

【利用者に寄り添った、提案と相談業務の強化】

- ・3Q訪問活動を通じた未加入者への訪問を実施し、保障提案を行い保障充実を図りました。
- ・**ローン相談会**、**年金相談会**を各地区で開催しました。

【手元で簡単・便利に取引できるインターネット、スマートフォンアプリによる便利機能の提供】

- ・次世代へIT活用の提案、入金取引である年金振込、給与振込口座の入金取引獲得に取り組み、地域に密着型の総合事業の強みを生かした推進活動を行いました。

【総合事業の強みを最大限活かした、JAらしいサービスの提供】

- ・サービス情報提供を強化するため、ロールプレイング大会を開催し、総合的な提案スキルアップに努めました。
- ・当組合管内の**農産物を金融商品の記念品として提供**しました。

金融・共済窓口担当者の
各種研修会や勉強会を実施し
スキルアップを図っています。



Ⅱ. 豊かな地域社会の創造

令和2年度の取り組み状況について

4. 組合員・利用者の期待に応える総合事業の展開

具体的な取り組み事項

【部門間連携による総合事業利便性の発揮】

- ・5月1日より「**情報交換室**」の運用を開始
 - JA内部(役職員)の情報共有と利用者との対話の話題作りツールとして「情報交換室」を導入。組合員及び利用者への情報提供とサービス強化を図りました。
- ・JAみやぎ仙南の総合ガイドブック「**JAくらしのサポートガイドブック Vol.2**」を作成
 - 組合員加入時をはじめ、各種イベント開催時のJA事業PRに活用しました。

令和2年度「情報交換室」に投稿された情報は**245件**



タイトル	内容	提出者
※ 令和2年度 農業用プラスチック回収量について	JAみやぎ仙南の...	▲ くらし組課担当
※ 令和2年度 農業用プラスチック回収量について	12月にみそづく...	▲ 角田組課担当
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	中田組の「黒糖...	▲ 藤田 (▲ 石川 ▲)
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	コロナ後ではあ...	▲ 角田組課担当
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	インシジョンによる...	▲ くらし組課担当
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	1/22(金)~1/24(日)...	▲ 藤田 (▲ 藤田担当)
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	コロナが過ぎると...	▲ 藤田 (▲ 藤田担当)
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	今年も「夢ごも大...	▲ 藤田 (▲ 藤田担当)
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	JAみやぎ仙南の...	▲ 藤田 (▲ 石川 ▲)
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	12月から角田・藤...	▲ 藤田 (▲ 藤田担当)
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	JAみやぎ仙南カン...	▲ 米越 角田担当
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	日頃の感謝を込め...	▲ 藤田 (▲ 藤田担当)
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	4月に「黒糖発...	▲ 藤田 (▲ 藤田担当)
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	クリスマスから...	▲ 藤田 (▲ 藤田担当)
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	令和3年が始まる...	▲ 角田組課担当
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	以前にもエコキャ...	▲ 角田組課担当
※ 令和21年度報告書【各イベント「夢ごも」10トン...	いつもお世話にな...	▲ 藤田組課担当

Ⅲ. 地域を支えるJA経営基盤の確立

令和2年度の取り組み状況について

1. 自己改革の実践を支える持続可能なJA経営基盤の確立・強化

災害時の避難所として
協定を締結



具体的な取り組み事項

◎自己改革の取組継続と事業部門ごとの基盤確保に向けた経営シミュレーションの強化

- ・総務管理部門委員会で検討している「固定資産活用方針に基づく処理計画」に基づき、計画的に不稼働資産の解体、売却、再利用等を進めることができました。
- ・施設運営について、白石地区の農機センターとあぐりハウスを併設し、運営の効率化を図りました。
- ・令和2年6月大河原町と「民間施設の臨時避難所使用に関する協定」を締結
→防災時における支援体制の整備を行いました。(対象物件:総合会館ララさくら及び駐車場)

避難場所



2. 自己改革の実践を担う人材の育成と活力ある職場づくり

具体的な取り組み事項

【問題解決型研修会による活力ある職場づくり】

- ・金融課長会議・金融渉外担当者会議、事務研修会（国庫金事務取扱研修会・融資担当者研修会等）を開催
→月1回以上の開催。管理者及び担当者の事務レベル向上に努めました。

【部門間における情報共有】

- ・各種研修会受講者がリーダーとなり、課内での情報共有を図り業務及び推進活動に活かすことができました。
- ・金融渉外と共済渉外の連携を図り、顧客のニーズに対応しました。
- ・令和2年11月金融部・共済部合同で相続セミナーを開催し、資産形成に係る職員の知識向上に努めました。

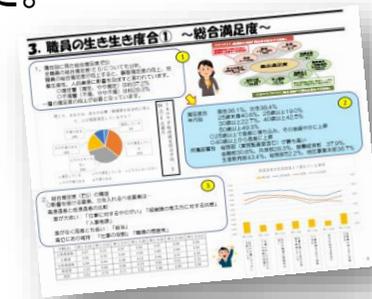


2. 自己改革の実践を担う人材の育成と活力ある職場づくり

具体的な取り組み事項

【人材育成基本方針の見直しと人事制度の再構築】

- ・限られた人材をどのように育成・教育するか、事業体制・職員数を検討しながら総合職的人材、専門職的人材についてキャリア事例を検討し、人材育成基本方針の骨子案作成へ着手しました。
- ・能力開発データの作成に向けて全職員の記録内容の検証を行い、職員資格取得指針を策定し、部門・専門職・総合職に限らず、全職員が取得すべき資格を明確にしました。
- ・人事情報を一括できるシステムの構築に向けて、現行のシステムの検証を行いました。
- ・**職員意識調査**、自己申告書を作成、調査を実施しました。



【内部統制の維持強化と信頼と絆の向上プランに代わる取り組みの実践】

- ・令和3年度のコンプライアンス・プログラムについて大幅な見直しを行い、取り組み意図と内容についての理解醸成に努めました。
- ・内部統制の運用点検と内部監査の充実を図るため、各種点検項目について事業所巡回し事務指導を行いました。



ひとめぼれ
ササニシキ
つや姫
だて正夢
etc...



畜産

仙台牛の里
めぐみ野豚
めぐみ野たまご



園芸

梨・イチゴ・きゅうり
玉ねぎ・長ネギ・生花
ブロッコリー etc...



実り豊かな仙南の農業